

ほんとうはこわい『マザー・グース』



チャリティー翻訳教室と翻訳作品朗読会

参加無料

会場に募金箱を設置し全額を国連児童基金ウクライナ緊急募金に寄付



2026年**3月20日(祝)** 札幌市民(カナモト)ホール会議室(定員50名) 北1条西1丁目(011-252-3700)

要お申込 ◆poetry.hokkaido@gmail.com ◆<https://teket.jp/1163465183>

◆メールやネット申し込みができない方のみ Tel: 090 8707 2688

◆Part 1 (13:30~14:40 開場 13:10) 大人のための マザー・グース翻訳教室◆

英語力を問わず参加できます(翻訳のポイント解説あり。英日対訳語彙リストをご用意)

イギリスで何世紀も伝承され日本でも親しまれてきた童謡『マザー・グース』の中から、本当はこわい、ダークでミステリアスな背景を持つ作品を翻訳してみましょう。

【講師】熊谷ユリヤ 文芸翻訳者、英国翻訳家協会/米国文学翻訳者協会会員。北海道通訳翻訳研究会(HITSs)、異文化異言語コミュニケーション協会(Ai-iC)会長。札幌大学名誉教授。北海道文学館理事。英語文芸翻訳サロン(LETS)主宰。*3/20 出席できない方: 4月のLETS参加可(無料; 火木夜, 金午前)

◆Part 2 (14:50~16:00) 翻訳作品朗読会◆

◇文芸翻訳サロン LETS メンバー有志による翻訳作品朗読会

❖『ピーターパン-大人になりたいくなかった少年』(J.M.パリー) ❖『小泉八雲 怪談』より「おしどり」

❖映画『独裁者』「最後の演説」(チャップリン) ❖「蛍の光」原曲スコットランド民謡「過ぎ去りし昔」

❖『金子みすゞ童謡詩集』より「積った雪」「雀のかあさん」「星とたんぽぽ」

❖『みだれ髪』(与謝野晶子)より ❖『幸福の王子』(オスカー・ワイルド)

◇熊谷ユリヤ Part 1 チャリティー翻訳教室の教材

❖ほんとうはこわい『マザー・グース』 Mother Goose: The Dark Side of Children's Songs

主催: 異文化異言語コミュニケーション協会(Ai-iC) 後援: 札幌市, (公財)北海道文学館 (公財)札幌国際プラザ